

平成28年度 事業計画書

平成28年1月1日から 平成28年12月31日まで

特定非営利活動法人高専プロコン交流育成協会

1 事業実施の方針

特定非営利活動に関する事業として、教育界、情報処理産業界はじめ一般社会人、学生などの不特定多数の層を対象として、全国高専プロコンの運営および国際プロコン大会の開催、情報産業界と高専教育界の連携を図るためのセミナーの開催などを計画する。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日程	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込み額(千円)
高専プロコン運営事業	全国高専プロコンの運営(予選)	6月	東京都	30名	応募学生・教員ならびに審査委員700人	15,400
	全国高専プロコンの運営(本選)	10月	三重県伊勢市	40名	全国高専からのコンテスト出場学生・教員及び産業界からの参加者一般市民約1000名	
国際コンテスト運営事業	国際プロコン大会開催	10月	三重県伊勢市	4名	国外からの参加学生・教員20名	6,320
産学連携事業	ICTに関する実践のセミナー開催	1月	長野市	3名	高専教職員及び高専学生など約100名	0
	高専プロコン連携シンポジウム	4月	全国(GI-Net)	15名	高専教職員など約300名	50
	情報産業界と高専教育界の連携を図るためのセミナー開催	11月	未定	2名	高専教職員・学生、大学生、企業など約160名	80
普及啓発に関する事業	ホームページ等による交流活動の啓発	随時	法人事務局	2名	情報産業界、教育界全般及び一般市民など不特定多数	3,000

全国高等専門学校

第27回プログラミングコンテスト開催要項（案）

1. 主 催 一般社団法人 全国高等専門学校連合会 （国公立高専の連合組織）
2. 共 催 特定非営利活動法人 高専プロコン交流育成協会（NAPROCK）
3. 後援（予定）
文部科学省，総務省，経済産業省，警察庁，三重県，三重県教育委員会，伊勢市，鳥羽市，伊勢市教育委員会，鳥羽市教育委員会，公益財団法人日本教育公務員弘済会三重支部，伊勢商工会議所，鳥羽商工会議所，一般社団法人コンピュータソフトウェア協会，一般社団法人情報処理学会，一般社団法人電子情報通信学会，一般社団法人教育システム情報学会，国立研究開発法人情報通信研究機構，オープンデータ流通推進コンソーシアム，株式会社BCN，NHK，CBCテレビ，東海テレビ，名古屋テレビ，中京テレビ，三重テレビ，ZTV伊勢放送局，毎日新聞社，中日新聞社，朝日新聞社，読売新聞社，産経新聞社，伊勢新聞社，伊勢志摩経済新聞社，日刊工業新聞社，鳥羽商船高等専門学校奨学後援会，鳥羽商船高等専門学校同窓会
4. 主 管 校 鳥羽商船高等専門学校
5. 応募資格 国公立高専の学生 （専攻科生を含む）
6. 協 賛 特別協賛・一般協賛 20社以上を予定
7. 募集部門 パソコン等で実行可能なソフトウェア環境のもとで以下の3部門で競う。
 - (1) 課題部門 「スポーツで切り拓く明るい社会」をテーマにした作品
 - (2) 自由部門 自由なテーマで独創的な作品
 - (3) 競技部門 与えられたルールによる対抗戦
8. 募集期間：平成28年5月20日（金）～5月27日（金）
9. 予選（書類による審査）
日 時 平成28年6月25日（土）
会 場 東京都立産業技術高専品川キャンパス（東京都品川区東大井1-10-40）
10. 本選（プレゼン・デモ等による審査，競技は対抗戦）
日 時 平成28年10月8日（土）～10月9日（日）
会 場 伊勢市観光文化会館（三重県伊勢市岩渕1丁目13-15）
11. 表彰
 - (1) 課題・自由部門（各々）
最優秀賞 優秀賞 特別賞
 - (2) 競技部門
優勝 準優勝 第三位 特別賞
 - (3) 最優秀賞および優勝チームには，文部科学大臣賞，情報処理学会若手奨励賞が授与される。
12. 備考
本大会と同時に NAPROCK 第8回国際プログラミングコンテストを実施
NAPROCK 公式サイト：<http://www.naprock.jp/IntProcon/>
高専プロコン公式サイト：<http://www.procon.gr.jp/>
高専プロコン Twitter 公式アカウント：[@KosenProcon](https://twitter.com/KosenProcon)

「NAPROCK 第8回国際プログラミングコンテスト」大会概要 (案)

(NAPROCK 8th International Programming Contest)

1. 主催 NPO 法人 高専プロコン交流育成協会
2. 共催 一般社団法人 全国高等専門学校連合会
3. 後援・協賛 全国高専プログラミングコンテストに準じる。
4. 応募資格 日本：国公立高専の本科生および専攻科生
(全国高専プログラミングコンテスト本選に参加する者)
大学生（競技部門のみ募集，予選を行なう場合がある）
海外：大学生（各高専等が受入窓口となり支援する者，選抜を行なう場合がある）
5. 募集部門（高専プロコンに準じる）
パソコン等で実行可能なソフトウェア環境のもとで以下の3部門で競う。
 - (1) 課題部門（「スポーツで切り拓く明るい社会」をテーマにした作品）
 - (2) 自由部門（自由なテーマで独創的な作品）
 - (3) 競技部門（与えられたルールによる対抗戦）
6. 募集期間 2016年5月20日（金）～2016年6月10日（金）
7. 審査方法・日程
方法：課題・自由部門はプレゼンおよびデモによる審査，競技部門は対抗戦
日時：2016年10月8日（土）～9日（日）
場所：伊勢市観光文化会館（三重県伊勢市岩渕1-13-15）
8. 審査委員 全国高専プログラミングコンテストに準じる。
9. 表彰

(1) 課題・自由部門（各々）	国際最優秀賞	国際優秀賞	国際特別賞
	Grand Prize	Second Prize	Special Prize
(2) 競技部門	国際優勝	国際準優勝	国際特別賞
	Champion	First-Runner-up Prize	Special Prize
10. 応募要項
<http://www.naprock.jp/IntProcon/> （NAPROCK 国際プロコンページ）
<https://www.facebook.com/naprock2008> （NAPROCK facebook ページ）
<http://www.procon.gr.jp/> （プロコン公式サイト）

11. 応募先・問合せ先

naprock-procon@tokyo-ct.net

12. 大学生のオープン参加について

- ・公募とするが，長岡・豊橋両技科大へは別途応募を打診する。
- ・高専チームに準じて応募書類の提出を求める（日本語）。
- ・大学内で指導教員を立ててもらいが，引率の必要はないこととする。
- ・優勝，準優勝の場合は規定通り表彰するが，特別賞の対象とはしない。
- ・参加チーム数に上限を設け，これを超える応募があった場合は予選を行なう。予選は高専プロコンと同時に行なう。
- ・大学生向けのアナウンスを別途用意し，Webに掲載する。

13. その他

- (a) 全国高専第27回プログラミングコンテストと同時開催とする。
- (b) 高専プロコン委員会および主管校が運営に協力する。
- (c) 高専が招聘元となる場合は別途招聘に関する実施要項を定める。

広報活動事業概要（案）

1. 事業の目的

公式ホームページ等により、本 NPO の活動を広く周知する。

2. 事業の概要

2-1 各事業に関する情報の掲載

本 NPO の事業の実施と連携して記事を掲載し、継続的な内容の更新を行う。

(1) プロコン事業

- プロコン本選に伴う結果の迅速な公開
- マスコミ掲載などの資料整理
- メディアスポンサーの募集

(2) 国際プロコン事業

- ホームページの英語版の掲載
- 英語版の DVD を製作して、プロモーション強化

2-2 会員の入会促進

- 会員募集要項の掲載に留まらず、会員に対して今後計画予定の事業（情報産業界と高専教育界の連携を図るためのシンポジウム等）に対して広く理解を求め、活動協力を啓蒙する。
- 高専教員を対象として、個人会員の入会を促進する

2-3 情報管理／発信の見直し

- 高専プロコン公式サイトのリニューアルを行い、情報検索の簡便さと NAPROCK との連携を図る。
- コンテンツを見直し、SNS の活用を進める。

産学連携事業概要（案）

1. 産官学連携事業の狙い

ICTに関する産業界、官庁、全国の高等専門学校との連携を促すためのサポートを行う。内容はICT業界に関する講演会、産官学連携の実践講座、学校においてICT業界の業務内容、必要な知識、技術などについての説明を行う場のサポートなど、産官学の交流の場を設ける。GI-netによるインターネット中継を使った高専プロコン連携シンポジウムを行う。

- (1) NAPROCK 主催、あるいは共催の講演会
- (2) 地域の高専地区の近くで NAPROCK がサポートする交流の場の提供
- (3) 希望高専を募り、その高専で ICT に関する実践講座を行うか、サポートを行う。

このため産業界の方、学識経験者、実務経験者、高専 OB、高専教員 OB の方の協力を得ながら、広く高専学生、高専の先生、関係者の方等に有意な実践知識を持ってもらうことを狙う。

2. 事業内容

1) ICT 人材育成セミナーの共催

日 時：平成 28 年 1 月 8 日

会 場：長野高専 100 番教室

講演名：ICT ネイティブ時代のサバイバル術 - Glass x IoT x OpenData

講演者：福野泰介 氏（株式会社 jig.jp 代表取締役社長）

主 催：特定非営利活動法人 長野情報通信研究所

共 催：信越情報通信懇談会

特定非営利活動法人 高専プロコン交流育成協会

後 援：総務省信越総合通信局

2) 高専プロコン連携シンポジウム実施

日 程：平成 28 年 4 月（予定）

内 容：GI-Net で全国の高専に発信

3) 情報産業界等との連携セミナー実施